



郵政産業ユニオン TOKYO

● 発行 ●
 郵政産業労働者ユニオン
 東京地方本部
 発行責任者 田中 孝史
 〒104-0031 中央区京橋3-6-3
 京橋通郵便局 5F
 TEL・FAX 03-3535-5447
piwutokyo@gmail.com

東京地評第21回定期大会が開催



争議団特別決議が満場一致で採択。

9月23日に東京地評の第21回定期大会が、すみだリバーサイドホールにおいてオンライン併用で行われました。

冒頭、荻原議長は「この1年コロナ感染防止に努めながら慎重に運動を進めてきた。岸田内閣は国民犠牲をいっそう進めている。統一協会と自民党の関係、安倍元首相の国葬の強行実施、物価高騰等、人々の怒りが沸騰している。非正規社員の時給1500円の実現、積極的なアプローチ、身近な相談活動を強め、労働運動の共同共闘を進めていく」と挨拶しました。

質疑討論では18名代議員が発言し、23春闘での賃上げ、ジェンダー平等、ILO条約批准、外国人の人権向上などの取り組みの報告、意見がだされました。その後、2023年度の運動方針案を全会一致で可決成立、大会は終了しました。

そして、JAL争議をはじめすべての争議解決に向け引き続き連帯、支援していく決意を述べました。

9月15日「すべての争議の早期解決を！」の全面解決を！裁判所、労働委員会は公平な判断をおこなえ！不当解雇、ハラスメントは許さない！憲法を職場とくらしに活かそう！」をスローガンに、37年に及ぶ長期争議をたまたかっている明治乳業争議団をはじめ14労組の争議解決をめざし支援総行動が展開されました。

第11回女性部大会が9月24日東京で開催されました。リモート併用で行われましたが、コロナの感染状況が落ち着いた中、常任委員

有村女性部長から、病気の休暇の条件変更と「生理休暇」の無給化についての本交渉の経過が報告され、まだまだ生理休暇が取りづらく状況等があるが、「生理

による体調不良へ配慮する」との回答を引き出した、これからも女性の声を会社に届け、改善させて行くために更に交渉して行くこと報告されました。



生理休暇取得の改善を

今年も参加した全員に職場状況を聞き、問題点や困っている事に対して解決方法を出し合い活発な討論がされました。「生理休暇」についてはアンケートの取組みと本交渉を「力」に職場で広めている活動が紹介されました。

東京地評争議支援総行動



連帯のあいさつをする田中委員長

9月15日「すべての争議の全面解決を！裁判所、労働委員会は公平な判断をおこなえ！不当解雇、ハラスメントは許さない！憲法を職場とくらしに活かそう！」をスローガンに、37年に及ぶ長期争議をたまたかっている明治乳業争議団をはじめ14労組の争議解決をめざし支援総行動が展開されました。

さらに女性の声を会社に
第11回女性部大会開催

すべての争議の早期解決を！



今年も新型コロナウイルス感染症防止のため、現在に至るまで、祭礼の中止や町内への神輿お披露目巡行のみが行なわれたりした▼スポーツ関連にしても、楽器での応援、大きな声だしの自粛がおこなわれていて、この数年さみしいばかりだ▼スポーツ界でも現役を引退する選手が増え、45歳の中日ドラコンズの福留孝介外野手が今限りで引退する。日米通算24年間、中日・カブス・インディアンス・ホワイトソックス・阪神・中日でプレーを続け、周りの仲間には多くのPL学園出身の先輩後輩がいる▼引退試合がバンテリンドームでの巨人戦ということで、最後まで試合を観ていた▼引退セレモニーでは、ナインからの胴上げで背番号と同じ9回宙に舞った。写真撮影、サプライズゲストもあり、グラウンドを一周しファンに最後の別れをおこなった。鉄仮面福留孝介は、泣いた。

(K)

安部元首相の「国葬」を強行

民主主義の破壊を許さない

9月27日

岸田首相は安部元首相の「国葬」を、多くの人々の反対の声を押し切って、強行開催しました。国会正門前には一万五千人の市民・労働者が「国葬やめろ」「憲法を守れ」「民主主義の破壊だ」の声を上げました。

国会正門前 抗議の行動



15,000人

安部の国葬開始と同時に午後二時開始の国会正門前行動には、続々と人々が集まりだし、一時三〇分頃には溢れんばかりの状態に。長野の市民グループの女性は朝6時に家を出たと私たちの横でインタビューにに応じていました。実行委員会の菱山奈帆子さんの怒りを込めたコール



で行動は始まりました。

元法政大学総長の田中優子さんは「民主主義と人権は不断の努力によって実現する。大日本帝国の遺物である国葬は国会軽視、国民無視、民主主義の破壊。安倍政権に権威を与えることはファシズムへの道。それを許さない闘いは今から始まる。不断の努力を」と呼びかけました。在日ビルマ労働組合連

合会会長は「ミャンマー国民を2300人殺している軍の代表者を国葬に参加させることに断固反対する」と訴えました。小室等・こむろゆいさんの演奏を挟みながら、参加者たちは最後まで怒りの声を上げ続けました。

9月19日「さよなら戦争、さよなら原発9・19大集会」が代々木公園で開催されました。強い雨の中、1万3千人が参加。7年前のこの日に、安保関連法が強行採決されました。集会



雨の中、13,000人の参加
9月19日、代々木公園

カルト集団の文章に「信者への献金・勧誘はあくまでも信者本人の信仰に基づく自主性及び自由意思を尊重し、信者の経済状態に比して過度な献金とならないよう、十分配慮しなければならない」(「2009年コンプライアンス宣言時からの指導の徹底」からの抜粋)とある。勿論、「ノルマ」もないと言っている。

カルト集団と日本〇〇株式会社

「信者」を「社員」に、「献金」を「営業」に置き換えると、日本〇〇株式会社を想起させる。因みに、「信仰」は「自己責任」か。

これは私の思い過ぎでしょうか。趣旨が違うのは承知の上だが。しかし、自死や生活破壊に追い込んでいるのも事実だ。

のサブタイトルは、「安倍元首相国葬反対!改憲発議と大軍拡やめろ!」。主催者挨拶で、総がかり実行委員会、憲法共同センターの小田川義和さんは、国葬の閣議決定働、防衛費増額などにより支持率の急落が止まらず、「国民の声を聞かない」岸田政権NO!の声を上げていこうと訴えました。

立憲民主党阿部知子さん、日本共産党志位和夫さん、社民党福島みずほさんの連帯の挨拶、沖縄の風伊波洋一さんからのメッセージが紹介されました。作家の落合恵子さんが市民を怒らせたかどうか示そうと訴えました。福島原発反対運動からは汚染水の海洋放出について、東海村の反対運動からは電力逼迫を理由に7基の再稼働の政府決定を批判、沖縄辺野古新基地建設反対の玉城デニー知事再選の報告、法律家6団体からは改憲批判の発言がありました。

会場には「国葬反対」のプラカードを手にした参加者も多数。安倍元首相は安保関連法の成立を強行し、もりかけ桜を見る会など政

治を私物化し、その疑惑が未解明のまま国民の税金で国葬するのはおかしいとの声が多く聞かれました。集会後、デモ行進して訴えました。

当面の行動日程

- 10月1日(土) 第1回支部長(支部代表者)会議 (東部区民事務所)
- 3日(月) 臨時国会開幕 議員会館前昼行動 6日(木)
- 第2回地本執行委員会 10日(月)・11日(火) 全国全労協大会(大田産業プラザ)
- 15日(土) 16日(日) 日本母親大会
- 20日(木) 労契法20条集団訴訟 (東京地裁 510) 10時20分
- 22日(土)・23日(日) みらい講座(南部労政) 13時10分
- 26日(水) 東京総行動

ここから
ホーム
ページへ

